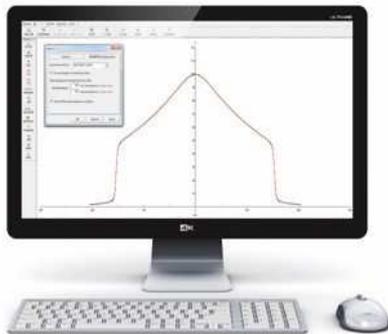
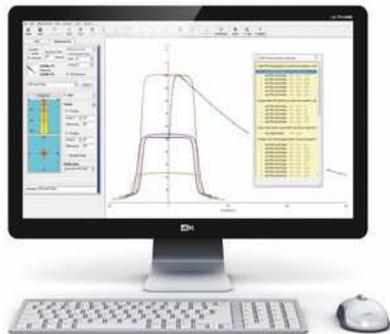


BEAMSCAN™

ソフトウェア機能の概要



セットアップとコンフィギュレーション

- ▶ オートセットアップでセットアップ時間を短縮.
- ▶ ビームデータ収集を自動化する新しいタスクリストをカスタマイズ.
- ▶ 最適なスキャン速度と解像度を設定調整する.
- ▶ リニアック情報や検出登録などデータベースで一元管理.
- ▶ 線量測定プロトコルを作成とカスタマイズ.
- ▶ 必要に応じて色やフォント、スタイルを変更可能.

ビームデータ測定

- ▶ 自動ビームデータ収集のための TPS タスクリストを選択.
- ▶ 高速スキャンモードを使用してスキャン時間を短縮.
- ▶ TPR / TMR、フィールドサイズまたはジオメトリの出力係数、ウェッジ/トレイ係数、異なる深さの等線量分布、または絶対線量など、さまざまな測定プログラムから選択.
- ▶ タンクシフトなしで大照射野ビームプロファイルを測定.
- ▶ リファレンスカーブのオーバーレイ機能.
- ▶ ビームをリアルタイムで確認して調整可能.
- ▶ 自動ウォーターレベリング機能による水位調整.
- ▶ ワンクリックでいつでも測定を繰り返します.

データプロセッシング

- ▶ スムージング処理によるノイズ除去機能.
- ▶ ハーフスキャンデータのマージ機能.
- ▶ ミラーリング機能によるアシンメトリデータの修正.
- ▶ PDD およびプロファイルのコンペン機能.
- ▶ シフト機能による PDD およびプロファイルの位置補正.
- ▶ FFF プロファイル解析におけるペナンベラ定義と CAX 修正機能.

- ▶ 国際プロトコルまたはユーザー定義の R50 値に基づいて、電子線 PDI(電離量百分率)を PDD(深部量百分率)に変換.
- ▶ CAX(中心点)や特定ポイントや絶対値によるノーマライズ.
- ▶ 深度や線量による補正用コレクションテーブルの作成.

ビームデータアナライシス

- ▶ FFF ビームプロファイルの評価.
- ▶ 国際的プロトコル(AAPM や TRS)やリニアックメーカー指定のプロトコルに従ったビームデータの解析.
- ▶ 1D Gamma や%偏差を使用したスキャンデータの比較.
- ▶ TPR/TMR、OCR および OPF のテーブルジェネレータ機能.
- ▶ 1D や 2D テーブルによる OPF の表示、解析、編集機能.
- ▶ ディテール解析用シングルスキャンの表示.
- ▶ シンメトリのクイックチェック用スーパーインポーズ機能.
- ▶ PDD から TPR/TMR へ変換.
- ▶ フィルムなどのデジタル画像に対する比較解析や定量分析の機能 (オプション) .

データハンドリングとエクスポート

- ▶ 各種ビームデータを、各社治療計画装置へ対応したフォーマットへ変換.
- ▶ 解析したビームデータを Track-it にエクスポート、トレンド解析とレポートを作成 (オプション)
- ▶ 選択したデータポイントやデータテーブルをコピーし、Excel、ASCII などにペーストが可能.
- ▶ プリントデザイナーでプリントレイアウトをカスタマイズ.
- ▶ アーカイブやシェアリングのための PDF プリント.